

H 群検討会における取組み内容について

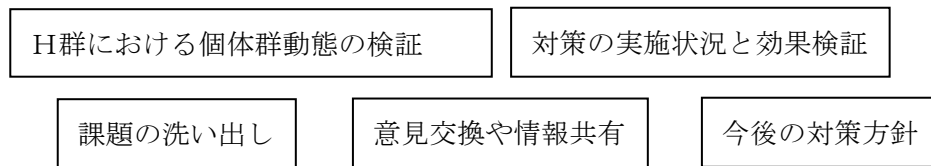
1 H 群における地域での検討会の取組みについて

(1) 検討会設置の経緯

- ・H 群は長年にわたり追い上げや追い払い、捕獲等の対策を実施してきたが、農業被害はもとより生活・人身被害も多発し、人とサルの軋轢が継続している。
- ・上記の状況を踏まえ、これまでの取組の検証と今後の対応を検討するため、「H群における追い払い等の取組の検証及び今後の対応に係る検討会（以下、H群検討会という。）」を設置した。
- ・構成員は、神奈川県、小田原市、真鶴町、JA かながわ西湘、小田原市追い払い隊、小田原市鳥獣被害防止対策協議会追い払い員、学識者とした。

(2) 検討会の概要

検討会では、主に以下の項目について、ワークショップ形式にて検討を行った。



(3) 意見の概要

第1回及び第2回で参加者から出された意見の概要は次ページにまとめたとおりである。また、第3回までの意見をまとめると、概ね以下のとおりであった。

- ・第4次神奈川県ニホンザル管理計画における3つの目標について、平成15年度策定の第1次計画から15年以上経った現在においても、農業被害の軽減と生活・人身被害の根絶は達成しておらず、被害者にとって死活問題となっている。
- ・H群は、農地や住宅地周辺に定着するなど著しい被害を及ぼす群れで、白銀林道への追い上げは困難で、追い払いや防護柵設置等の被害防除対策には限りがない。
- ・県からは、中期的展望に立ち、群れの加害性を下げるための生息頭数の縮小と併せて被害防除対策を進め、被害の根絶等を図っていくという意見が出された。
- ・地元の市町やJA かながわ西湘、農家等からは、被害が根絶しないのならば最終的に全頭捕獲しか道はなく、次期神奈川県ニホンザル管理計画において、H群の全頭捕獲を位置付けることが不可欠でありその実現を強く求めるという意見が出された。

(4) 今後の対応について

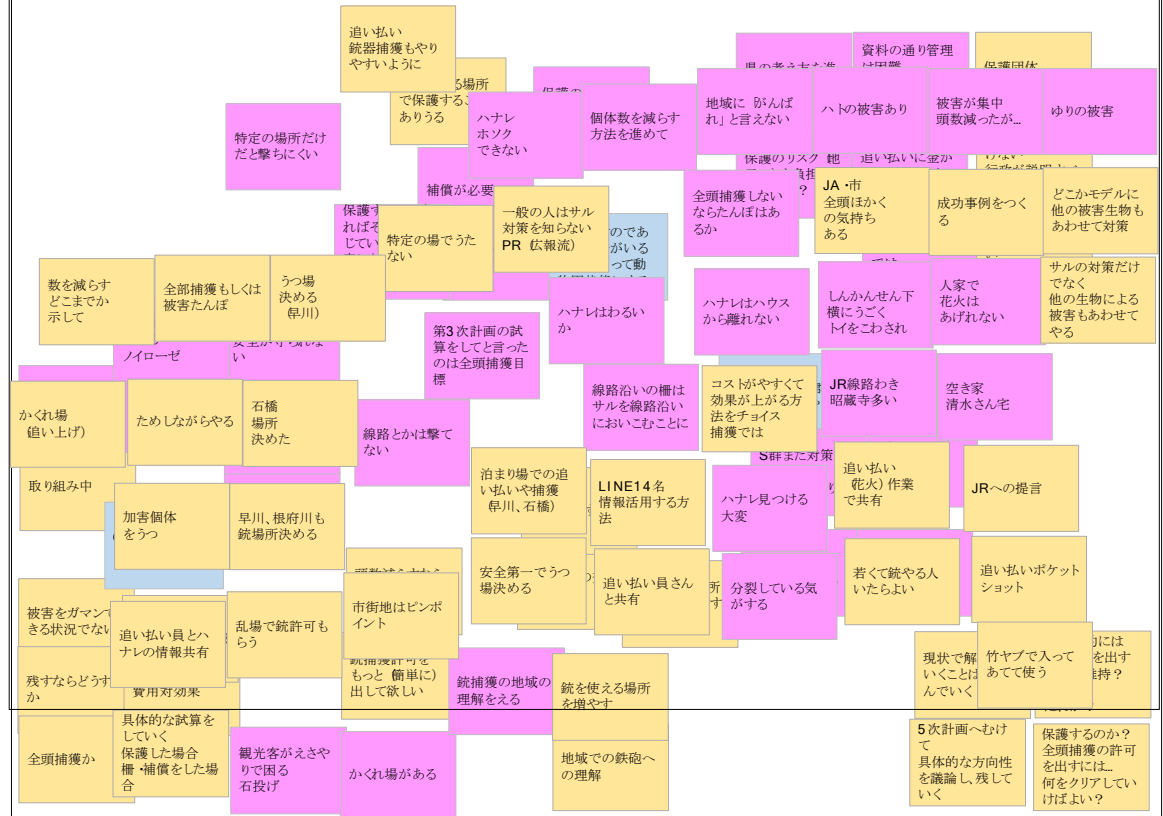
今後、第3回までの検討会内容について報告書としてとりまとめ、神奈川県、小田原市及び真鶴町に提出し、神奈川県では次期管理計画を審議する神奈川県サル対策専門部会及び神奈川県鳥獣総合対策協議会に諮っていく。

H群における追い払い等の取組の検証及び今後の対応に係る検討会第1回検討会(1-1)

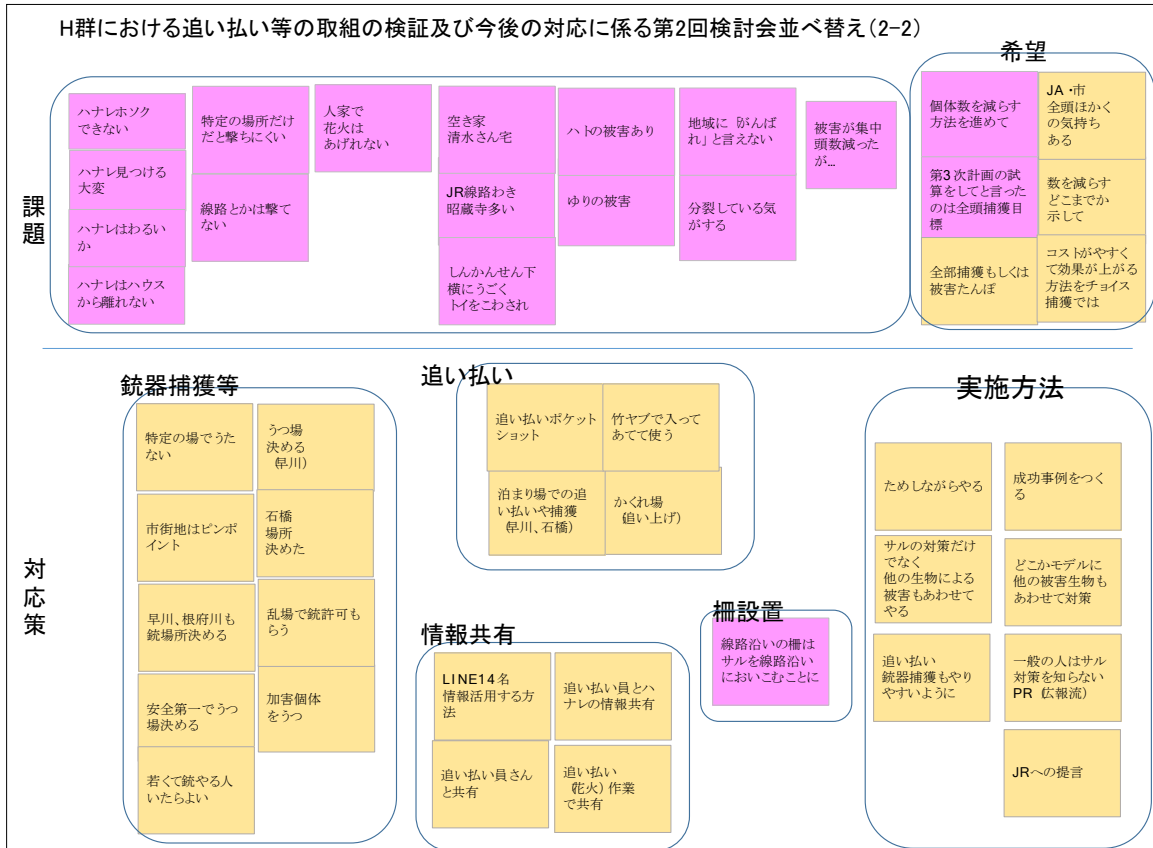
農業被害	生活被害	人身被害	ハナレザル	人馴れ	追い上げ困難	
農業被害がある。被害を減らす方向へ	室内の収穫すみのトウモロコシをとられた。	人が足首かまれた	数(ハナレ)含む把握をしっかりと	サル行動大だにノラネコみたい	サル追い払いに慣れている銃が使えない場所	高齢化等の理由により、いつまでも追い払いを実施することも難しい
被害がないことが重要。収入が減。	かわらわられる被害あり。				銃で追い払いすると、銃捕獲やりにくくなるのでは	追い払うのが精一杯
ネーブル晩柑の被害多い。	石をころがされる被害あり危険!					撃てるチャンスない狙ってる間ににげる
作りたい作物が作れない。	太陽光パネルがこわされなにか心配。	空気銃でおどしても、逃げこんだ林の中で木をゆすり、人間を威嚇する				
農業に対する意欲が失われる。	建物車がこわされる。	農道をバイクで作業に登ると、サル78頭に囲まれ、非常にこわい思いをした事が何回もある			農地で追い払うと人家へ移動する	白銀林道へ追い上げ困難
柿の木に集団で登り、収穫不可能な位に食い荒らす。	国道135号線沿いの直売所(無人店舗)から陳列している商品を奪い取り、家屋の屋根や駐車中の車上で食い散らす。	通学路キケン			捕獲でなく追い払う意味がわからない	真竹に逃げ込む
ネットで被覆しているデコボンの木の中にもぐりこみ、食い荒らしている。		レス鳩小屋に入られ、大事にしている鳩を食われる羽根をむしられ、機能を失われる			H群については、真鶴町岩地区から追い払いを行っても、追い払い先(小田原市)で新たに追い払いが必要になってしまい、双方にとって時間と労力ががかかってしまう	なぜ西湘地域個体群を維持する必要があるか?
屋根にカボチャがのっていた。			農家のためには0頭がいい	フン、尿から細菌感染が起き、抗菌剤の投与が必要になる(サルモネラ等) (レース場)		B.Sあれば撃てる
カラマンダリンの生産をあきらめた。	長年の被害で精神的に落ち込んでいる。	被害をなくするには0頭がいい。	ひがいあるし全頭捕獲でいい	守りやすい体制づくり	真鶴町	転作オリーブ庭木
		被害届出さない				景観がいい

※赤フセン：課題、黄色フセン：対応案、青フセン：プラスの効果

H群における追い払い等の取組の検証及び今後の対応に係る検討会第2回検討会(2-1)



H群における追い払い等の取組の検証及び今後の対応に係る第2回検討会並べ替え(2-2)



※赤フセン：課題、黄色フセン：対応案、青フセン：プラスの効果